

水通信



2020.8.28 第175号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目次

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社事業部長 村上 喜昭

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【新着情報】](#)

[中部管内優良工事等表彰について](#)

[中部支社](#)

- 気象予測に関する講習会を開催しました

[豊川用水](#)

- 手動式スピンドル開閉装置の分解点検講習会を実施しました
- フルハーネス型安全带使用作業特別教育を実施しました

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 事務所周辺の清掃活動を実施しました

[愛知用水](#)

- 三好池堤体耐震補強工事現場を小学生が社会見学

[木曽川用水](#)

- 令和2年7月豪雨 木曽川大堰において既往最大洪水流量を記録
- 令和2年7月豪雨 飛騨川の水質悪化に伴う機構の対応
- 災害への備え オイルフェンス設置訓練を実施

[岩屋ダム](#)

- 金山小学校 岩屋ダム見学会を行いました。

[阿木川ダム](#)

- 空心菜（くうしんさい）の水耕栽培について

○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの開催中止について
[徳山ダム](#)

○ 徳山会館営業中!

[長良川河口堰](#)

○ 令和2年7月における長良川河口堰ゲート全開操作について

[味噌川ダム](#)

○ 就業体験生(インターンシップ)の受入を行いました

[三重用水](#)

○ 中里ダム「離郷の碑」の清掃を行いました

○ ホタルが生息する赤川の清掃を行いました

☆ [【イベントカレンダー】](#)

○ 令和2年9月～10月

☆ [【編集後記】](#)

○ 担当課 中部支社事業部 水管理・防災課

巻頭言

【中部支社事業部長 村上 喜昭】

本年4月に中部支社事業部長を拝命いたしました村上と申します。今後ともよろしくお願ひします。

私が赴任した直後の4月7日には、新型コロナウイルス感染症への対応として、政府による「緊急事態宣言」が発出され、愛知県においても4月10日に「愛知県緊急事態宣言」が発出されました。これまでに経験したことのない対応を全国で実施することとなり、中部支社においても執務室に入る前の手指の消毒、手洗いの励行はもとより、時差出勤、集合しての会議の自粛又は通信機器を用いたウェブ会議の実施、職員が4班体制をとり4日の内3日間は自宅等でテレワークを実施することとなりました。この間、関係者の皆様には会議に代わりメール等による資料送付、電話での説明等、意思疎通に多大なご不便をおかけしました。

また、4月、5月は例年に比べ降雨量が少なく、特に愛知用水の水源である牧尾ダムでは4月以降ダムの貯留が思うようにできず、愛知用水の節水を覚悟させられましたが、平年並みの6月10日に梅雨入りをしたおかげで、ギリギリ節水対策を回避できました。

今年の梅雨は線状降水帯により局地的に猛烈な雨が降り、熊本県を流れる球磨川が氾濫して大変な被害が発生しました。中部支社管内においても、7月8日に岐阜県、長野県に大雨特別警報が発令され、岐阜県を流れる飛騨川でも氾濫、土砂災害が発生しました。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

今年の7月の降雨量は、木曾川水系、豊川水系のほとんどのダムで例年の3倍以上を記録し、各々のダム管理開始以降7月の降雨量としては1位となりました。このような状況のもと、今年度からの新しい取組である事前放流を大島ダム、宇連ダム、牧尾ダム、岩屋ダムの4ダムで実施しました。関係者の皆様には、事前放流を実施するための各種調整を時間のない中、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

雨の降り方も今年にみられるように両極端となり、渇水、豪雨が頻発すること、新型コロナウイルス感染症対策も今後の新たな日常になると、これからの管理は、ますます大変になることが予想されます。これから本格的な台風シーズンとなりますが、水資源機構としては安全、安心できる防災対応に努めながら、安定した水供給を行っていく所存ですので、関係者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける8月28日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の8月降雨量は平年を下回る状況（平年比5%～26%）となっていますが、4ダム合計の貯水率は86%（平年比105%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの8月降雨量は、平年を下回る状況（平年比8%～20%）となり、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は63%（平年比84%）と平年を下回る貯水状況となっています。

今後も水需要が多い時期が続きます。天気が良く、暑い日が続いていますので、引き続き、気象、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける8月の降雨及び利水貯水率（8月28日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	5	7	26	18	20	8	6	7
利水貯水率 （平年比）	65.1 (100.3)	90.7 (100.3)	99.8 (102.9)	100 (112.0)	45.4 (67.8)	88.3 (97.8)	69.5 (107.7)	100 (100.3)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou02-1.html>

新着情報

中部管内優良工事等表彰について

- 中部管内各事業所において優良工事等の表彰者を決定しました

中部支社管内の各事業所では、このたび令和2年度優良工事等の表彰者を決定しました。この表彰制度は、水資源機構発注の工事等を受注し、その成果及び工事等の取り組み姿勢が特に優秀で他の模範となる工事等を選定し、受注者の皆さんを表彰することによって、技術力の向上を図り円滑な事業推進を期待するものです。

表彰の内訳は、各事業所長表彰として、令和元年度に完成した工事等から、工事については、「優良工事表彰」及び「優秀工事技術者表彰」、業務については、「優良業務表彰」及び「優秀技術者表彰」等を表彰するものです。さらに中部支社安全協議会会長表彰として、令和元年度に無災害で工

事を実施あるいは竣工した工事で労働安全衛生への取り組みが優秀である工事を表彰する「安全管理優良工事表彰」となっています。

従来は、表彰式を執り行い、その場で、各事業所長より敬意を直接お伝えしていたところですが、7月に入り、新型コロナウイルスの感染が再度拡大したため、各事業所で創意工夫して表彰を行っています。以下、主な事業所を記載するとともに、各事業所の表彰者等のリンクを載せておきます。

★ 中部支社

今年は中部支社長表彰として優良工事4件、優秀工事技術者5名、優良業務1件、優秀技術者1名。また、中部支社安全協議会会長表彰として安全管理優良工事表彰の4件が決定しました。7月に入り、新型コロナウイルス感染が拡大したため、大変残念でしたが急遽表彰式を中止としました。賞状の直接授与と記念撮影ができず例年とは異なる表彰となりましたが、受賞者の皆様には、これからも一層の技術力の向上に努められ、公共工事の模範となるべく、優れた工事・業務の実施に邁進されますことを祈念致します。

★ 徳山ダム管理所

7月29日(水)、徳山ダムが発注し令和元年度に完成した業務のうち、その成果が特に優秀な業務を表彰する優良業務受注者表彰式を実施しました。通常は受賞者が出席し会議室で表彰を行います。コロナ禍で初の試みとなるWEB会議による実施となりました。



■ 森合所長からWEBによる表彰



■ モニターを囲んで記念撮影

★ 中部管内各事業所表彰者はこちら

中部支社：

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/2020/200730yuuryoukoujihyousyouichiran.pdf>

豊川用水総合事業部：

<https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/topics/200803yuuryoukouji.pdf>

愛知用水総合管理所：

[https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/00\(top\)/02\(rireki_event\)/20200728\(hyosyo\).pdf](https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/00(top)/02(rireki_event)/20200728(hyosyo).pdf)

木曾川用水総合管理所：

<https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/shinchaku/20200727.pdf>

岩屋ダム管理所：

https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/file/new_info/20200728_hyousyousya.pdf

阿木川ダム管理所：

https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/ibent/pdf/20200731_R02yuuryo.pdf

徳山ダム管理所：

<https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/news/pdf/200729yuuryoukoujitouhyousyou.pdf>

長良川河口堰管理所：

https://www.water.go.jp/chubu/nagara/04_shinchaku/r2/yuryoukouzihyousyo_20200716.pdf

味噌川ダム管理所：

https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/999oshirase/2020/0728_hyosyo.pdf

三重用水管理所：

https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/keiji_ban/2020.7.28hyoushou.pdf

中部支社

○ 気象予測に関する講習会を開催しました

6月25日（木）中部支社において、中部管内の気象予測を委託している一般財団法人日本気象協会の技術者を講師に迎え、気象予測等に関する講習会を開催しました。

講習は、

- ①中部管内の降雨特性と2020年出水期の見通し
 - ②気象協会が提供する気象情報データ MICOS Fit の操作方法
 - ③事前放流に関する最近の動向
- と題し、これから出水期、台風シーズンを迎えるにあたり、心の準備と、新しい取り組みとなる「事前放流」について、学習する良い機会となりました。



■講習会の状況

気象及び気象予測に関することは、水資源施設を管理する機構職員にとって重要な基本情報と言えます。

少しでも雨の予測の理解が深まれば、一歩先の施設管理ができるのではないかと期待しています。

台風シーズンが終わるまで気を抜けない日々が続きますが、この講習会で得た知識を十分に発揮し、より良い施設管理を行うとともに、今後とも、気象に関する講習会を続け職員のスキルアップを図っていきます。

豊川用水総合事業部

○ 手動式スピンドル開閉装置の分解点検講習会を実施しました

7月16日（木）に豊川総合用水土地改良区が管理する天伯ファームポンドに設置されている手動式ゲートのスピンドル開閉装置を用いた分解点検講習会を豊川総合用水土地改良区と合同で行いました。（参加者 改良区：6名、機構：4名）

スピンドル開閉装置は、定期的にグリス交換を行わなければ開閉機内部に雨水、結露等の水分による、発錆、又はグリスの劣化による固着が起こり、開閉操作が不能となる恐れがあります。講習会では開閉機の分解方法、内部の構造、グリスの給油箇所などについて確認しました。

今後も定期的に分解点検を行っていくことで設備の機能維持と信頼性が確保でき、設備の延命化を図ることができます。



■ 開閉機内部（発錆、水分混入）



■ 開閉機へのグリス給油

○ フルハーネス型安全帯使用作業特別教育を実施しました

労働安全衛生法（安衛法）の改正により、2019年2月1日から安全帯の規格が変更となり、フルハーネス型安全帯が義務化されました。フルハーネス型安全帯を使用するには安衛法に基づく特別教育を受講する必要があります。（現在は猶予期間（2019年2月1日～2022年1月1日まで）となっています。）

安衛法の改正直後は、フルハーネス型安全帯が品薄状態で購入できない時期が続きましたが市場に出回り始め、豊川用水総合事業部でもようやく購入することが出来ました。

また、事業部安全協議会においても重点安全対策として「転落・墜落による人身事故防止」に取り組んでいることから、令和2年7月28日（火）に職員を対象とした特別教育を実施しました。

当日は、事業部3F会議室にて外部講師をお招きし、事業部39名、支社8名の計47名が参加し、新型コロナウイルス感染防止対策（窓開放、消毒、マスク着用）を行いつつ、①作業に関する知識、②安全帯に関する知識、③労働災害の防止に関する知識、④関係法令について学び、最後にフルハーネス型安全帯の装着訓練を行い特別教育を無事終了しました。



■装着訓練中



■装着完了

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 事務所周辺の清掃活動を実施しました

梅雨空が続く中、7月15日（水）に事務所周辺の清掃活動を行いました。

当日は、曇り空ではあったものの雨は落ちてこない天候の下、昼食後のお昼休憩の時間帯に職員総勢8名で事務所周辺の公道、事務所所在地区における災害発生時の指定緊急避難場所となっている井堰公園内において各自、空き缶、ペットボトル、お菓子の空き袋などのゴミを回収しました。

今後も、折りを見て事務所周辺の清掃活動を実施し、地域の美化に貢献して参ります。



■公道の清掃



■井堰公園の清掃

○ 三好池堤体耐震補強工事現場を小学生が社会見学

7月21日（火）に、みよし市天王小学校の3年生110名が、社会見学として三好池堤体耐震補強工事の現場見学に訪れました。

天王小は三好池の近くにあるため、工事現場までは歩いて来ていただきました。

見学会では、工事概要について説明をした後、実際に打設する鋼管杭にクレヨンでお絵かきをしてもらいました。その鋼管杭は、色鮮やかに人気アニメキャラクターが描かれ、新型コロナの終息を願う想い、「みんなのためにがんばってください」との心温まる工事に向けた応援メッセージが記されるなど、参加した全員の心に残る取り組みになったかと思えます。

その後の工事に関する質問コーナーでは、数多くの質問が出され、ひとつずつできるだけ分かりやすい説明をしました。

この日は大変暑い中での見学となりましたが、安全管理・誘導・体調不良者などに気を配りながら、楽しい社会見学になるようサポート体制を充実させて実施したことで、無事に終了することができました。参加してくれた小学生のみなさまにとって、この社会見学で愛知用水に対する理解が深まり、貴重なお絵かき体験は忘れられない思い出になったのではないかと思います。併せて、工事関係者にとっても大変励みになる取り組みになったと思います。



■ 概要説明の様子



■ 鋼管杭へ小学生によるお絵かきの様子



■ 鋼管杭に描かれた小学生のメッセージ

木曾川用水総合管理所

○ 令和2年7月豪雨 木曾川大堰において既往最大洪水流量を記録

7月3日（金）から日本付近に停滞した前線の影響で、日本の各地で大雨となった「令和2年7月豪雨」では、木曾川流域においても記録的な降雨となり、令和2年7月8日（水）12時55分、木曾川大堰では昭和58年度の管理開始以降、既往最大放流量：9,547m³/sを記録しました。

この大雨により、岩屋ダム流域では累計雨量459.5mm、最大時間雨量35.0mmを観測するとともに、牧尾ダム流域では累計402.1mm、最大時間雨量23.6mmを観測しました。特に、7月7日～8日に九州から東海地方にかけて記録的な降雨があり、48時間の降雨量は7月8日午後6時までに、長野、岐阜、愛媛、福岡、大分、長崎、佐賀、熊本の26地点で観測史上最大を更新しました。



■ 平常時 放流量約 200m³/s



■ 7月8日 12:55 最大放流量 9,547m³/s

○ 令和2年7月豪雨 飛騨川の水質悪化に伴う機構の対応

「令和2年7月豪雨」により、飛騨川流域においても記録的な降雨となり、飛騨川上流の下呂市小坂付近で国道41号の路面が崩落するなど多くの被害がありました。飛騨川では多量の土砂を巻き込んだ水が流下し、木曾川右岸施設の白川取水口地点では濁度が1,000度を超過したことから、岐阜県山之上浄水場から取水停止要請があり白川取水口の取水を一時停止しました。

取水停止による通水量減少の影響中は木曾川右岸用土地改良区連合のポンプ場の運転調整に協力をいただき、水道用水利水者の岐阜



■ 7月8日 神湊沈砂池濁りの状況

県企業庁、八百津町との連携を密にとることで、浄水場の取水停止と再開がスムーズに行われ、水道供給に大きなトラブルは無く浄水場の運用管理に寄与しました。

○ 災害への備え オイルフェンス設置訓練を実施

7月28日(火)木曽川大堰上流において油流出事故が発生、取水口を油が通過したという想定で海部幹線水路にオイルフェンスの設置訓練を実施しました。

訓練では、オイルフェンスの保管場所の確認、格納庫から天井クレーンを使用した搬出、水路への設置手順確認、オイルフェンスの繋ぎ止めのロープワーク、オイルマットの散布と回収と、実働で緊急時におこなう一連作業を訓練しました。

木曽川用水では引き続き防災訓練を実施し、緊急時に速やかに対応できるよう取り組みをすすめます。



■オイルフェンスの設置訓練



■オイルマット・回収訓練

岩屋ダム管理所

○ 金山小学校 岩屋ダム見学会を行いました。

8月19日(水)、金山小学校4年生12名が岩屋ダムに見学にやってきました。この見学会は岩屋ダムのことをもっとよく知っていただくために毎年開催しているものです。

まず始めに、ダムの概要説明を行い、次にゲート室やダムの堤体等の施設を見学し、実際にダムの大きさなどを体感してもらいました。

子供たちは職員に積極的に質問をするなど、ダムの役割等を意欲的にしっかりと学んでいました。



■ ゲート室見学



■ 堤体でのダム説明

阿木川ダム管理所

○ 空心菜（くうしんさい）の水耕栽培について

阿木川ダム管理所では貯水池の水質浄化対策として平成16年度より空心菜の水耕栽培を関係機関と実施しております。空心菜は東南アジア原産のヒルガオ科サツマイモ属の野菜でリンや窒素といった栄養塩類を吸収して育つという特徴があります。

今年度は7月の苗定植作業に先立ち、当管理所職員で6月25日（木）にフロート交換作業を行いました。

7月3日（金）に行われた定植作業は恵那農業高校、恵那市、地元住民の方、阿木川ダム管理所が協同で行いました。この際に定植した空心菜は8月5日（水）の刈り取り作業にて収穫しました。刈り取り作業は今後も複数回実施され、収穫した空心菜はお茶等に加工されます。

地域連携を図りながら同時に水源地域の環境保全に寄与する本活動は高い評価を受けており、昨年度8月には恵那農業高校が国土交通省より「令和元年度水資源功労者表彰」を受賞しております。



■ フロート交換作業



■ 刈り取り作業

○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの開催中止について

阿木川ダム管理所では例年7、8月に複数のイベントの開催及び参加をしており、広報活動を行って参りました。

その代表的なイベントである「阿木地域振興親子さかなつかみ大会」、「一般者向け施設見学会」、「サマーフェスティバル」につきましては昨今の新型コロナウイルス感染拡大を受けまして中止させていただくこととなりました。

依然として収束の目処が立っておらず、まことに残念ではありますが、また再び皆様とお会いできる日が来ることを願っております。

徳山ダム管理所

○ 徳山会館営業中!

徳山ダム管理所の上流約4kmのところの徳山会館があります。旧徳山村の歴史・文化を後世に伝えることを目的とした施設で徳山湖畔に立地しており湖を一望できます。

会館内のレストランでは「徳山ダムカレー」を食べることができます。自らカレールーを放流できるユニークなカレーです。

このほか、「ツンツンわさび飯」は刻みわさびと大量の鯉節に醤油を少しかけてご飯と混ぜて食べます。涙が出る辛さですが癖になります。

徳山会館は火～日曜に開館しレストランは金～日曜日に営業しています。

是非お出かけください。



■徳山会館全景



■徳山会館レストランからの徳山湖



■カレールーを放流前の徳山ダムカレー



■ツンツンわさび飯

長良川河口堰管理所

○ 令和2年7月における長良川河口堰ゲート全開操作について

令和2年7月は梅雨前線の影響による出水が続き、長良川流域平均雨量が管理開始以降最多となる1,125mmを記録しました。これは7月の過去平均値(401mm)に比べ281%の降雨量です。このような中、長良川河口堰においては7月1日～28日までの間に7回(延べ20日間)の全開操作を行いました。

全開操作とは長良川の洪水を安全に流下させるため、10門ある長良川河口堰ゲートを堤防高(標高5.8メートル)まで引き上げることをいいます。

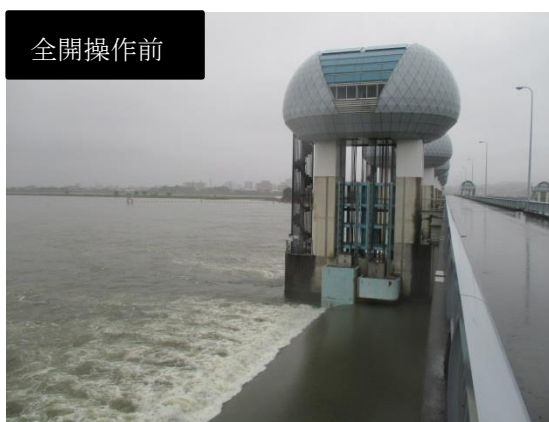
年間の平均全開操作回数は約7回ですので今年はいかに多いかがお分かりいただけます。

またゲート全開継続期間についても、7月6日～13日(連続8日間)と管理開始以降で最長期間を記録しました。なお、全開操作終了後は、塩水(海水)遡上を防止し安定取水確保のため通常操作に切り替えました。

以上のように令和2年7月は記録づくめの出水となりましたが、引き続き長良川河口堰では本格的な台風シーズンを前に備えに万全を期すとともに、より一層の適切な堰の管理・運用に取り組んで参ります。



■左岸下流からゲート開閉状況を望む



■左岸側管理橋からゲート開閉状況を望む

味噌川ダム管理所

○ 就業体験生(インターンシップ)の受入を行いました

水資源機構では、ダム・水路現場での就業体験を通じて、学校では経験できない専門分野や技術に触れていただき、学習意欲の向上や、進路・就職の視野を広げていただくことを目的として就業体験生の受入を行っています。

8月3日から7日までの5日間味噌川ダムでは就業体験生の受入を行いました。

就業体験を通じて、学校で勉強したことが活かされたと同時に水資源機構の仕事に対する理解や関心を深めていただいたようです。



■堤体内を点検する就業体験生

三重用水管理所

○ 中里ダム「離郷の碑」の清掃を行いました

7月5日(日)に、深尾地区の方々、三重県企業庁、三重用水土地改良区の参加・協力をいただき、中里ダム「離郷の碑」の清掃活動を行いました。

三重用水の根幹となっている中里ダムは、長い建設反対闘争がありましたが、三重用水事業のために移転という苦渋の選択をされた28戸のご協力があって、昭和47年3月に着工し、昭和52年3月に完成しました。

この離郷の碑は、まさに故郷を離れる思いを「移転の犠牲によって満々とダムにたたえられた清冽な水が、願わくば世の多くの人たちを潤す水とならんことを。さらばふるさと。」と刻まれ、深尾地区の氏神であった砂原神社跡に建てられています。

三重用水に勤務する職員一同は、碑文に刻まれた気持ちで移転にご協力いただいたことに対して、いつまでも感謝の気持ちを忘れずに、日々の管理に努めていきたいと思っております。



■清掃中の「離郷の碑」



■清掃活動に参加された皆様

○ ホタルが生息する赤川の清掃を行いました

三重用水管理所は、7月15日（水）に菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃除草作業を実施しました。

これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で実施しているものです。

今年も赤川では、多くのホタルが確認されました。三重用水管理所もホタル観察会に5月20日（水）から6月30日（火）までの間で参加協力をしました。

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生活出来るよう、定期的に赤川の清掃活動に取り組んでいきます。



■赤川の清掃の様子

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【令和2年9月～10月】

新型コロナウイルス感染防止のため、主なイベント等は中止となっております

編集後記

【中部支社担当課：中部支社事業部水管理・防災課】

今年の東海地方の梅雨明けは平年より11日遅い8月1日ごろとなりましたが、梅雨明け以降はまとまった降雨がなく、8月25日時点で、中部支社管内の各ダム地点降水量において、牧尾ダム、阿木川ダム、味噌川ダム、徳山ダム、中里ダム、大島ダムで管理開始以降の最小値を更新しています。（岩屋ダム、宇連ダムは過去2番目の少雨）

一方で、先月は中部支社管内の各ダム地点降水量において、中里ダムを除く7ダムで過去最大値を更新（中里ダムは過去4番目の降雨）しており、洪水対応も長期に及びました。

近年は雨の降り方が極端になる傾向にあります。今年の7月と8月は過去最大、最小を更新するなど、その振れ幅がしだいに大きくなってきているように思われます。

今後は、台風シーズンを迎えますが気象情報に注視しつつ、今年度より運用開始となった事前放流も含め、安全な水運用に努めて参ります。



■ 中部支社で育てた名古屋朝顔

